

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）

【取組内容④】 協働的な学び合いにするための校内研修・小中合同研修の在り方

Google WorkspaceやMicrosoft Teamsを活用した効果的な研修の工夫

研究の基本的な考え方

主体的・協働的に学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成

～1人1台端末の活用により学校と家庭をつなぎ、確実な学びの定着を図る授業づくりを通して～



目指す授業

1人1台端末を効果的に活用したコネクト学習により、学校と家庭をつなぎ、確実に学んだことを定着させ、児童生徒が主体的・協働的に学び合えることができる授業

西米良村小中合同主題研究会

「授業改善」をねらいとした実践的研究スタイル

西米良村小中合同主題研究会は、村内小・中学校の職員が一堂に会し、教育実践を通して児童生徒の教育的な課題の解決を図っています。

小中合同授業研究会

毎年、小・中学校で1本ずつ、研究主題に沿った研究授業を行っている。その後、協議会を設けることで、授業改善に役立っている。クラウドの活用により、意見の共有や保存を容易にしている。



校内研修の工夫と実践1

協議①

授業の中でうまくいったところは？
改善が必要と感じたことは？

コメント〈抜粋〉

・コネクト学習で前もってYチャートを入れたシートにしていることで、すでに分けた状態で入力した児童がいた。次回は更に工夫が必要である。

協議②

研究主題の協働的に学び合うとは
どんな姿？

コメント〈抜粋〉

・自分とは異なる考え方に触れながら、学びを深める学習
・自分の意見を他者に伝える



共有シートに書き込んだものをもとに、小グループで協議を行い、全体で発表し合った。

小中合同での模擬授業

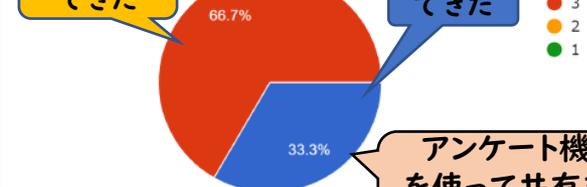
小・中学校合同で模擬授業を行い、異なる学校種の先生方と協議をしながら、様々な視点で授業力の向上、より良い授業改善に役立って。協議の祭にクラウドを活用することで、意見の集約や共有が容易になり、深まりのある会となった。



職員にとってアンケート〈抜粋〉

⑧ 思考ツールを活用するなど、協働的に学習するための手立てを図った。
9件の回答

だいたいできた



アンケート機能を使って共有を図った。